

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和6年1月10日実施)

	図書名等	聴き取り内容
1	<p>抱いてください、冬己さん。 令和5年12月18日発行 株式会社viviON viviON THOTH</p>	<p>好き同士の二人の恋と愛を育む物語。性行為を露骨に描写していると言わざるを得ない。性行為描写の多さ、擬音、体液、器具の使用も目立つ。指定該当。</p> <p>修整はしっかりされており、人格否定等ないが、局部、結合部を強調している場面が多い。性シーンが多いに尽きる。指定該当。</p> <p>王道のBL漫画。相思相愛の恋愛模様で嫌悪感もなく、強制的な所も見当たらない。画力があり、読後感も良く、性器の修整はされているが、強制的な性器の登場回数が青年レベルを超えている。指定該当やむなし。</p> <p>最初は純粋に恋愛マンガとして読める描写（性器のボカシも一定の配慮有り）であるが、段々性行為をしているか仕事をしているシーンしか描写が無くなる。性交シーンは擬音、体液描写が激しく、性器も形状が分かるシーンが目立つ。指定該当。</p> <p>ストーリーは純愛もので人格否定など無く、良く出来た作品。しかし、開脚シーンが非常に多く体液描写も卑わい感を増している。指定該当。</p> <p>性器の修整はされているものの、性描写が多く、指定該当。</p> <p>会社の先輩と後輩の関係が最初から最後までずっと続いていて、暴力的な面や、人格否定的な側面は感じられない。性器は白抜きで配慮されているが、大きさ、形状など分かりやすく、性描写の占める割合が多い。体液描写や開脚結合のシーンも多い。指定該当。</p> <p>恋愛漫画。性器の描写、肛門の描写は一貫して白抜きしており、配慮を感じる。擬音は、一見絵柄の一部のようにしか見えず、ごちゃごちゃした印象を与えるが、実際は実況動画のように配置し、登場人物のセリフの一部と相まって漫画らしいコミカルさを演出している。体液描写については、涙、汗と一体化したものを含めてやや過剰な印象。人格否定の要素、薬物などの危険行為もなく、読後感は好感が持てるものの、白抜きした性器の登場回数とやや過剰な体液の演出をあわせて、成人向き。指定該当。</p> <p>男同士の清々しい純愛コミック。性描写において、性器の修整はしっかりなされている。区分陳列の対象とすべきかどうかは、性行為シーンが多い点にあると思うが、それほど気にならず、清いラブストーリーの印象の方が読後感として強い。指定非該当。</p> <p>擬音、体液が、少し多い様に感じるが、性器等はしっかり白抜きで修整してある。ギリギリ許容範囲。指定非該当。</p> <p>人格否定はない。青少年がこれで性的感情を刺激されるとは思わない。指定非該当。</p> <p>社内恋愛の作品。暴力的なシーンや人格否定的な場面はない。若干、体液描写、擬音が多いと感じるが、卑わいさはそれほど感じない。指定非該当。</p> <p>性器描写は白抜きで処理されている。器具の使用も見られるが、強制や反社会性は乏しい。指定非該当。</p> <p>セックスが好きな社内カップルの物語。セックスが描写されているページが集中しているが全体ではそこまで多くない。性器のぼかしが弱いように感じるが、暴力的な表現、人格否定がないので、指定非該当。</p>